

県立特別支援学校生 イチゴの葉摘み取り

県立境特別支援学校（境町）高等部1年の生徒10人程度が20日、古河市高野にある外食チェーン「坂東太



郎」のイチゴ栽培ハウスで古い葉を摘み取る葉がきの作業を行った。写真。同社が実習の場に活用してほしいと呼びかけ、今年度から始まった取り組み。生徒らは同社の担当者から「周りが茶色になった古い葉は病気の元になったり害虫のすみかになったりするので取り除きましょう」などと説明を受けた後、ハウスでイチゴの葉を丁寧に調べ、古くなった葉を一枚ずつ摘み取っていた。女子

生徒の一人(16)は「初めにハウスの先生に取ってもらった古い葉と見比べて作業を進めた。イチゴの成長に役立てたと思う」とうれしそうに話していた。

——●●●●——

高等部のデュアル学習の記事がいばらき新聞（12月27日発行）に掲載されました。